

⑥橋梁付属物工

⑥-1 橋梁用伸縮継手装置設置工

1. 適用範囲

本資料は、市場単価方式による、橋梁用伸縮継手装置設置工に適用する。

1-1 市場単価が適用出来る範囲

(1) 伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が、1.8m当り 180 kg 以下の伸縮装置（別紙一覧表参照）の新設及び補修工事で、以下の工事とする。

- 1) 未供用部の橋梁及び拡幅部等の伸縮装置を新たに設置する工事。
- 2) 1日で完了する急速施工の既設橋の伸縮装置補修（取替）工事。
- 3) 上記に該当する工事で、縦目地を施工する場合。

1-2 市場単価を適用出来ない範囲

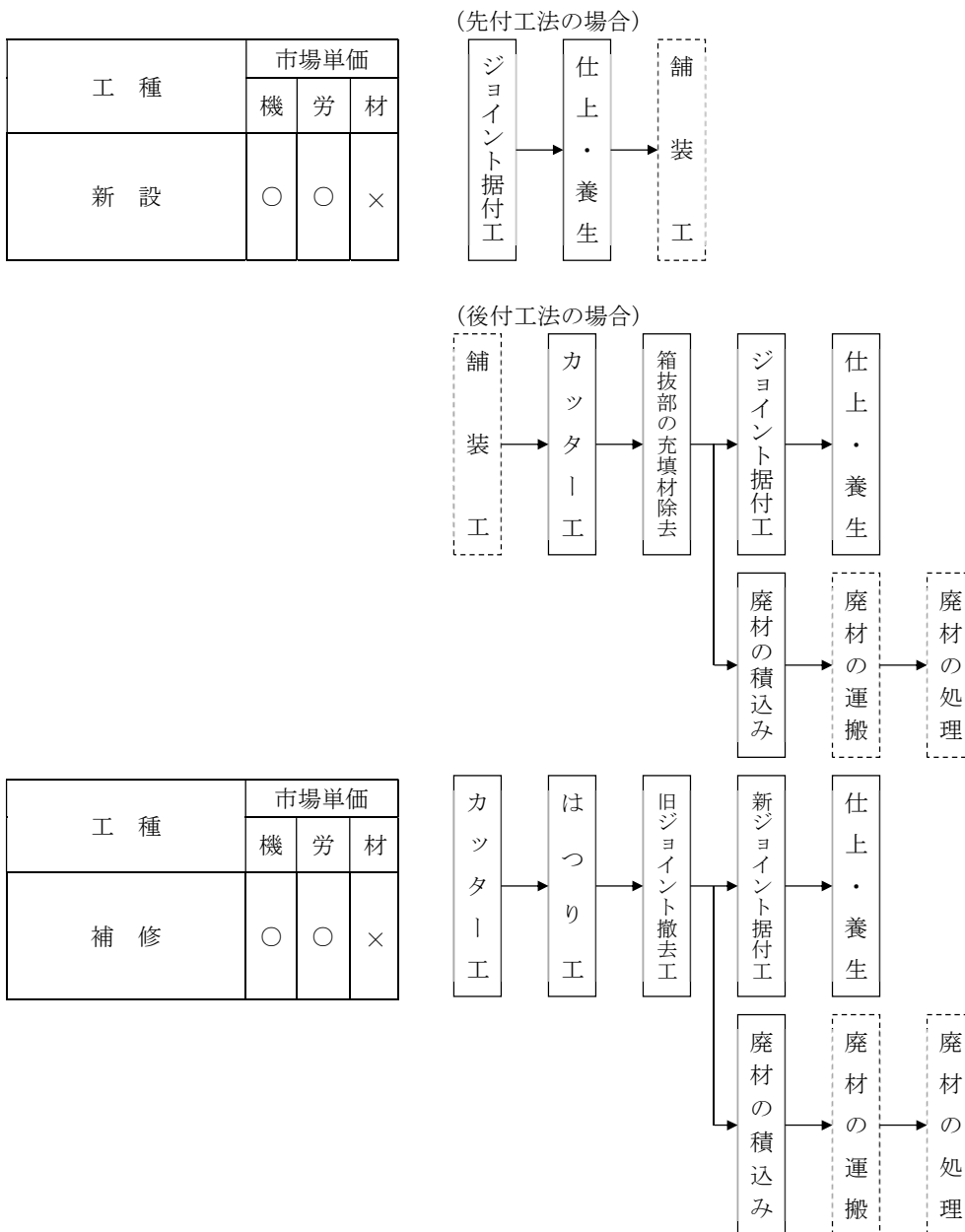
(1) 特別調査等、別途考慮するもの。

- 1) 旧伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が、1.8m当り 180 kg を超える補修工事。
- 2) 旧伸縮装置が、鋼製フィンガージョイント及び鋼製スライドジョイント、埋設型伸縮装置の場合。
- 3) 打設コンクリートに樹脂コンクリート、あるいは樹脂モルタルを使用する場合。
- 4) 新設工事で打設コンクリートに超速硬コンクリートを使用する場合。
- 5) 補修において、はつり部に補強鉄筋のある樹脂コンクリートの場合。
- 6) 仮復旧等を伴う作業。
- 7) ボルト固定による取り替え可能な伸縮装置の場合。
- 8) 離島および山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。
- 9) 鋼床版の場合。
- 10) 補修において、はつり工にウォータージェットを用いる場合。
- 11) その他、規格・仕様が適合せず市場単価を適用出来ない場合。

2. 市場単価の設定

2-1 市場単価の構成と範囲

市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。



(注) 1. ジョイント据付工には、型枠、コンクリート打設、据付等の作業を含む。

2. 伸縮装置本体及び本体に付属するアンカーボルトは、別途計上する。

3. 市場単価に含む諸資材は、以下のとおりである。

- 1) 打設コンクリート(新設は、普通コンクリート〔普通又は高炉又は早強セメント〕，補修は超速硬コンクリート)
- 2) 補強鉄筋
- 3) 削孔式アンカー(補修の場合は含む。新設で必要な場合は別途計上する)
- 4) その他作業に必要な資材
- 5) 施工に伴う諸資材のロス等

2-2 市場単価の規格・仕様

橋梁用伸縮継手設置工の市場単価の規格・仕様区分は、下表のとおりである。

表2.1 規格・仕様区分

規 格 ・ 仕 様			単 位	
新 設	軽 量 型	1. 新設の橋梁用伸縮継手設置工 2. 伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が 1.8m 当り 50 kg 未満	m	
	普 通 型	1. 新設の橋梁用伸縮継手設置工 2. 伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が 1.8m 当り 50 kg 以上 180 kg 以下	m	
補 修	軽 量 型	1 車線相当	1. 橋梁用伸縮継手補修工 2. 1日当りの施工が、1車線相当（3.6m 標準） 3. 伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が 1.8m 当り 50 kg 未満	m
		2 車線相当	1. 橋梁用伸縮継手補修工 2. 1日当りの施工が、2車線相当（7.2m 標準） 3. 伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が 1.8m 当り 50 kg 未満	m
	普 通 型	1 車線相当	1. 橋梁用伸縮継手補修工 2. 1日当りの施工が、1車線相当（3.6m 標準） 3. 伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が 1.8m 当り 50 kg 以上 180 kg 以下	m
		2 車線相当	1. 橋梁用伸縮継手補修工 2. 1日当りの施工が、2車線相当（7.2m 標準） 3. 伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が 1.8m 当り 50 kg 以上 180 kg 以下	m

2-3 補正係数

(1) 補正係数の適用基準

表2.2 補正係数の適用基準

規 格 ・ 仕 様	適 用 基 準	記 号	備 考
夜 間 作 業	通常勤務すべき時間（所定労働時間）帯を変更して、作業時間が夜間（20 時～6 時）にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量

(2) 補正係数の数値

表2.3 補正係数の数値

区 分	記 号	新 設 工 事	補 修 工 事
夜間作業	K ₁	1.40	1.25

2-4 直接工事費の算出

直接工事費＝設計単価（注）×設計数量＋本体材料費

（注） 設計単価＝標準の市場単価×K₁

3. 適用にあたっての留意事項

市場単価の適用にあたっては、市場単価の設定に示すものの他に、以下の点に留意すること。

- （1） 補修工事の場合、1日当りの実施工量（車線相当数）は、交通規制等の施工条件によるものとする。
- （2） 補修工事における施工数量は、表 2.1 に示す延長を標準とし、斜橋等で延長が変動しても、各車線相当単位の単価とする。
- （3） 現道拡幅工事で縦目地を新設する場合は、一般の新設工事と同等の施工条件を満足する場合に適用する。
なお、新設工事と同等の施工条件とは、供用側床版端部の Cutter 工及びはつり工を完了しているものをいう。
- （4） 随意契約による調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。
- （5） 補修工事において、床版打抜き等により床版に影響が出る場合は、床版補修の費用を別途計上する。
- （6） 新設工事における工法（先付・後付）にかかわらず適用出来る。
- （7） 地覆・壁高欄部のシーリング工及び地覆・壁高欄カバー設置工の有無に関わらず適用できる。
（材料費は別途計上）
- （8） 廃材の運搬については、「第Ⅱ編第2章(25)殻運搬」により別途計上する。

<参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製作会社名	伸縮装置		【用途関係】						【構造関係】										特 殊 型 枠 使 用	摘 要
			歩車道 区分	積雪地 対応	設 置 方 向		遊間部 形 状		伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構 造	補 強 鉄 筋 重 量 (kg/m)	※ 本 体 重 量 (kg/1.8 m)	分類		本体付属アン カー		本 体 価 格 に 含 む			
	車 道 用	歩 道 用			専 用 型	仕 様 有 り	道 路 縦 断 方 向	道 路 横 断 方 向					直 線 型	歯 型	軽 量 型	普 通 型		ボ ルト 後 締 め		
			名 称	型 番																
橋梁 メン テナンス	KMS ジョイント	KMS II-20, 35, 50	○		○	○	○	○	20~50	○	6.24	65.70 68.4~161.1	○	○	○	○	誘導板別途			
		KMS III-20, 35, 50, 50W	○		○	○	○	○	20~50	○	6.24	68.4 72.0~164.7	○	○	○	○	二重止水構造付き誘導板別途			
	KMA ジョイント	KMA-60, 80, 110, 160	○		○	○	○	○	60~160	○	14.17~29.39	57.6~169.74	○	○	○	○	誘導板別途			
		KMA-60N, 80N, 110N, 160N	○		○	○	○	○	60~160	○	14.17~29.39	61.20~174.96	○	○	○	○	二重止水構造付き誘導板別途			
	シーベックジョイント	SP-60KMA, 80KMA, 110KMA, 160KMA		○			○	○	60~160	○	12.86~14.36	81.36~151.92	○	○	○	○				
		TR-50		○			○	○	50	○	1.99	13.86	○	○	○	○				
シ ョ ー ボ ン ド 建 設	3S-V ジョイント	3S-20V, 30V	○	○			○	○	20~30	○	6.2	55.0~56.5	○	○	○	○				
		3S-40V	○				○	○	40	○	6.2	67.5	○	○	○	○				
	ST ジョイント	ST-20N, 30N, 40N, 50N, 60N, 80N	○				○		○	20~80	○	6.2~9.4	54.2~156.5	○	○	○	○			
		ST-80G	○	○			○		○	80	○	9.4	162.3	○	○	○	○	誘導板付き		
	グライディングジョイント	GLH-20, 30, 40, 50	○	○			○	○	20~50	○	6.2	140.5~166.0	○	○	○	○	—			
	スマートジョイント	SMJ-20, 30, 50, 70, 100	○	○			○		○	20~100	○	6.2	61.1~129.5	○	○	○	○	—		
	VM ジョイント	VM	○	○			○	○	○	20	○	6.2	31.5	○	○	○	○	鉛直伸縮量 20 mm		
	3S-V ジョイント(歩道用)	3S-V, 3S-20V, 30V		○			○	○	○	20~30	○	6.2	37.8~39.3	○	○	○	○			
	AI ジョイント	AIJ-20, 30	○				○		○	20~30	○	4.0	42.3~44.8	○	○	○	○			
		AIJ-40, 50	○				○		○	40~50	○	6.2	55.3~58.1	○	○	○	○			
SBH ジョイント	SBH-40		○			○	○		40	○	4.0	40.5	○	○	○	○				
	SBH-60, 80		○			○	○		60~80	○	4.0	53.8~60.1	○	○	○	○				

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

＜参考資料＞ ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製 作 会 社 名	伸 縮 装 置		【 用 途 関 係 】					【 構 造 関 係 】										摘 要		
			歩車道 区 分	積雪地 対 応	設 置 方 向	遊間部 形 状		伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構 造	補 強 鉄 筋 重 量 (kg/m)	※ 本 体 重 量 (kg/1.8m)	分類		形式		本体付属アンカー 本体価格に含む	特 殊 型 粋 使 用			
	直 線 型 型	歯 型 型				軽 量 型	普 通 型					ボ ルト 後 締 め	本 体 溶 接 済 み							
	名 称	型 番	車 道 用	歩 道 用	専 用 型	仕 様 有 り	道 路 縦 断 方 向	道 路 横 断 方 向	直 線 型	歯 型	伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構 造	補 強 鉄 筋 重 量 (kg/m)	※ 本 体 重 量 (kg/1.8m)	軽 量 型	普 通 型	ボ ルト 後 締 め		本 体 溶 接 済 み	本体付属アンカー 本体価格に含む
中 外 道 路	ガイスライドジョイント	GS-20, 25, 30, 50, 80, 100, 125, 150, 175, 200, 220		○			○	○	○		20~220	○	4.0	83~119	○		○	○		
		GS-NL20, 30, 40, 50, 60, 70		○			○	○	○		20~70	○	6.2	91.0~110.0	○		○	○		
	スーパーガイトップジョイント	SGT4-20, 25, 30, 50	○			○	○		○		20~50	○	6.2	50~56	○		○	○		誘導板別途
		SGT4-80, 100	○			○	○		○		80~100	○	12.5	70~83	○		○	○		//
	メタルガージョイント	SGT4-125, 150, 175	○			○	○		○		125~175	○	12.5	95~160	○		○	○		//
		NL-20FL, 30FL, 40FL, 50FL, 60FL, 70FL	○			○	○		○		20~70	○	6.2~12.5	59~149	○		○	○		//
	CGスチールジョイント	NT-80FFL, 100FFL	○			○	○		○		80~100	○	12.5	90~180	○		○	○		//
		NL-20F, 30F, 40F, 50F, 60F	○			○	○		○		20~60	○	6.2~12.5	50~79	○		○	○		//
	メタルトップスノーLジョイント	MIS-35L, 50L, 90L	○			○	○		○		35~90	○	9.4	79~176	○	○		○	○	//
		MIS-35, 50, 90	○			○	○		○		35~90	○	9.4	72~85	○	○		○	○	//
	ラバエースジョイント	RTS-35, 50, 90	○	○			○	○	○		35~90	○	9.4	47~49	○		○	○	○	//
		RTH-35, 60	○	○			○	○	○		35~60	○	6.2	41~47	○			○	○	誘導板別途
RT-AS		○	○			○	○	○		20	○	6.2	41	○			○	○	//	
PCJジョイント	PCJ-20, 25	○				○	○	○		20~25	○	6.2	49~50	○			○	○	//	
	PCJ-35	○				○	○	○		20~35	○	6.2	58	○			○	○	//	
秩 父 産 業	メタルジョイント	LC-A40, A60, A90, A120, A170		○			○	○	○		40~170	○	6.2	77.5~129.0	○		○	○		
		KC-A20, A30, A50, A70	○	○			○	○		○	20~70	○	6.2	65.5~141.4	○		○	○		
		SC-A30	○	○			○	○	○		30	○	4.0	33.3	○		○	○		
		KC-A20G, A30G, A50G, A70G	○	○	○		○	○		○	20~70	○	6.2	70.7~148.2	○		○	○		片側誘導板付き
		KC-A20WG, A30WG, A50WG, A70WG	○	○	○		○	○		○	20~70	○	6.2	76.9~156.4	○		○	○		両側誘導板付き
		SC-A30WG	○	○	○		○	○	○		30	○	4.0	39.6	○		○	○		//

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

＜参考資料＞ ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製 作 会 社 名	伸 縮 装 置		【 用 途 関 係 】					【 構 造 関 係 】										摘 要		
			歩 車 道 区 分		積 雪 地 対 応		設 置 方 向	遊 間 部 形 状		伸 縮 量 (mm)	非 水 溝 造	補 強 鉄 筋 重 量 (kg/m)	※ 本 体 重 量 (kg/1.8m)	本 体 付 属 ア ン カ ー		特 殊 型 砕 石 使 用				
	車 道 用	歩 道 用	専 用 型	仕 様 有 り	道 路 縦 断 方 向	道 路 横 断 方 向	直 線 型	歯 型	分 類					ボ ル ト 後 締 め	本 体 溶 接 済 み		本 体 価 格 に 含 む			
									堅 型	普 通 型										
東 京 フ ァ ブ リ ッ ク 工 業	プ ロ フ ジ ョ イ ン ト	Nx型20, 30, 40, 50, 60	○			○	○	○		20~60	○	6.24	63~102		○	○	○			
		Nx型20, 30, 40, 50, 60, 80, 100		○			○	○	○		20~100	○	6.24	53~96		○	○	○		
		Nx型20, 30, 40, 50, 60, 80, 100		○			○	○	○		20~100	○	6.24	67~122		○	○	○	二重止水構造付き	
		CDx型20, 30, 40, 50, 60	○				○		○		20~60	○	6.24	60~115		○	○	○		
		CDx型20, 30, 40, 50, 60	○		○			○		○	20~60	○	6.24	65~120		○	○	○	誘導板付き	
		CDx型20, 30, 40, 50, 60	○					○		○	20~60	○	6.24	84~143		○	○	○	二重止水構造付き	
		CDx型20, 30, 40, 50, 60	○		○			○		○	20~60	○	6.24	88~147		○	○	○	二重止水構造付き, 誘導板付き	
		SWx型20, 30, 40	○		○			○		○	20~40	○	6.24	98~148		○	○	○	誘導板付き	
		NH型-20,25,35,50,60	⊖	⊖			⊖	⊖	⊖		20~60	⊖	3.98	59.0~91.5		⊖	⊖	⊖		
	SW型20,40,60,100	⊖				⊖		⊖		20~100	⊖	5.97~9.95	61.7~164.5		⊖	⊖	⊖			
プ ロ フ ジ ョ イ ン ト (耐グレージ=用)	NH型-20,25,35,50,60	⊖	⊖	⊖		⊖	⊖		20~60	⊖	3.98	80.3~119.1		⊖	⊖	⊖		誘導板付き		
	CDx型20,25,35,50,60	⊖	⊖	⊖		⊖	⊖		20~60	⊖	3.98	57.9~102.3		⊖	⊖	⊖		〃		
	SW型20,40,60	⊖		⊖		⊖	⊖		20~60	⊖	5.97~9.95	68.5~133.6		⊖	⊖	⊖		〃		
E P ジ ョ イ ン ト	E P 型 30	○	○			○		○		30	○	1.99	31.5	○		○	○			
ニ ッ タ	ト ラ ン ス フ レ ッ ク ス ジ ョ イ ン ト	TF-S, TF-S50	○	○			○	○	○		35~40	○	8.4	22.0~39.1	○		○	○		
		HTF-S, HTF-S50	○	○			○	○	○		35~40	○	5.0	22~39	○		○	○		
	S P ジ ョ イ ン ト	20N, 30N, 50N, 70N, 80N	○	○			○	○	○		20~80	○	6.2	52.8~133.2		○		○	○	
		20S, 30S, 50S, 70S, 80S	○	○	○		○	○	○		20~80	○	6.2	59.2~142.4		○		○	○	誘導板付き
	C W ジ ョ イ ン ト	20R, 30R, 40R, 50R, 60R	○	○			○	○	○		20~60	○	6.2	51.3~111.6		○		○	○	
		20S, 30S, 40S, 50S, 60S	○	○	○		○	○	○		20~60	○	6.2	59.2~119.2		○		○	○	誘導板付き
	A F ジ ョ イ ン ト	50, 70, 100, 160		○			○	○	○		50~160	○	2.0	19.3~31.7	○		○	○		
ト ラ ン ス フ レ ッ ク ス ジ ョ イ ン ト	No.35, 45, 50	○	○			○	○	○		35~50	○	13.0	32.6~49.0	○		○	○	○	誘導板別途	
	No.60, 70, 80	○	○			○	○	○		60~80	○	13.5	62.5~87.5		○	○	○	○	〃	
	No.100	○	○			○	○	○		100	○	14.0	155.0		○	○	○	○	〃	
日 本 橋 梁 工 業	ダ イ ヤ フ リ ー ジ ョ イ ン ト	K-40	○	○			○	○	○		40	○	9.6	44.1	○		○	○	○	誘導板別途,
		K-40T	○	○			○	○	○			○	9.6	44.1	○		○	○	○	誘導板別途, 横軸伸縮量 35mm, 鉛直伸縮量 20mm
		K-50T, 80T	○	○			○	○	○			○	8.9	80.9~93.1		○	○	○	○	誘導板別途, 横軸伸縮量 35~50mm, 鉛直伸縮量 30~40mm
		K-50, 80, 110	○	○			○	○	○		50~100	○	8.9~17.9	89.2~162.7		○	○	○	○	誘導板別途
日 本 鑄 造	マ ウ ラ ー ジ ョ イ ン ト	E-80	○	○			○	○		80	○	25.0	117.0		○	○	○	○	積雪地兼用, 誘導板別途	

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

＜参考資料＞ ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製 作 会 社 名	伸 縮 装 置		【 用 途 関 係 】						【 構 造 関 係 】										特 殊 型 枠 使 用	摘 要	
			歩車道 区 分		積雪地 対 応		設 置 方 向		遊 間 部 形 状		伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構 造	補 強 鉄 筋 重 量 (kg/m)	※ 本 体 重 量 (kg/1.8m)	分 類		形 式				本 体 付 属 ア ン カ ー
	車 道 用	歩 道 用	専 用 型	仕 様 有 り	道 路 縦 断 方 向	道 路 横 断 方 向	直 線 型	歯 型	軽 量 型	普 通 型					ボ ルト 後 締 め	本 体 溶 接 済 み	本 体 価 格 に 含 む				
											車 道 用	歩 道 用	専 用 型	仕 様 有 り				道 路 縦 断 方 向			道 路 横 断 方 向
横 浜 ゴ ム	YMタイプ	YMN-1		○			○	○	○		20	○	4.98	11.88	○			○	○		
		YM-1		○			○	○	○		50	○	5.17	23.94	○			○	○		
		YMG-20	○	○			○	○	○		20	○	3.98	20.16	○		○		○		
	YHTタイプ	YHT-20,30	○	○			○	○		○	20~30	○	6.24	60.12~60.84		○		○	○		
		YHT-Nタイプ	○	○			○	○	○	○	50~90	○	6.24	102.6~156.6		○		○	○		誘導板別途
		YHT-90-N改	○	○			○	○	○	○	90	○	6.24	158.4		○	○		○	○	誘導板別途、二輪車転倒防止構造
	YFSタイプ	YFS-20,30	○	○	○		○	○		○	20~30	○	6.24	66.96~67.68		○		○	○		誘導板付き
YMFタイプ	YMF-20,25,35,50,60	○	○			○	○	○	○	20~60	○	6.24	50.76~62.64		○		○	○		誘導板別途	
ア オ イ 化 学 工 業	ラバトップジョイント(車道用)	GY-S20, S25, S35, S50, S60	○					○	○	20~60	○	4.0	59.4~72.7		○		○	○			
	ラバトップジョイント(歩道用)	GY-H20, H25, H35, H50, H60		○				○	○	20~60	○	4.0	41.2~45.9	○			○	○			
	ラバトップジョイント (耐グレーダー用)	GY-G20, G25, G35, G50, G60	○		○				○	○	20~60	○	4.0	69.7~83.0		○		○	○		誘導板付き
		GY-GL20, GL25, GL35	○		○				○	○	20~35	○	4.0	76.1~82.6		○		○	○		〃
	ラバトップジョイント	GT	○	○			○		○			○	4.0	14.8	○			○	○		
ラバトップジョイント ZAKU	ZAKU25	○				○		○	○	25	○	3.98	49	○			○	○		誘導板別途	
	ZAKU35	○				○		○	○	35	○	3.98	70		○		○	○		誘導板別途	
ク リ エ ー ト 中 川	ウェイビーフックジョイント	W-V-20, 30, 50, 80, 100, 125, 150, 175, 200	○					○	○	20~200	○	8.0~12.5	51.0~153.0		○		○	○			
	ウェイビーフックリブジョイント	W-V-R-20, 30, 50, 80, 100, 125, 150, 175, 200	○		○			○	○	20~200	○	8.0~12.5	65.0~164.0		○		○	○		誘導板付き	

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

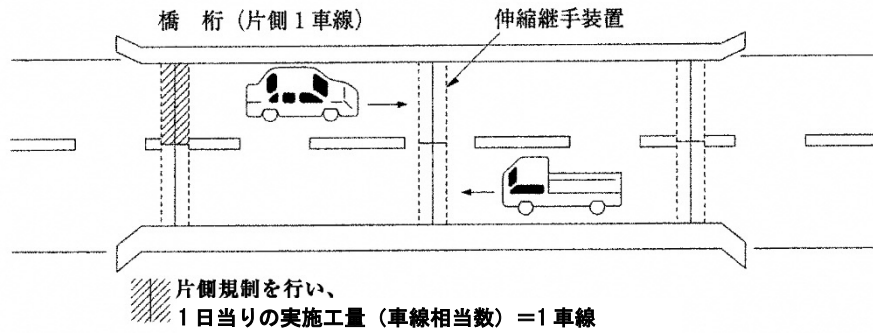
<参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製 作 会 社 名	伸 縮 装 置		【 用 途 関 係 】							【 構 造 関 係 】										特 殊 型 枠 使 用	摘 要
			歩車道区分		積雪地対応		設 置 方 向		遊間部形状		伸縮量 (mm)	非排水構造	補強鉄筋重量 (kg/m)	※ 本 体 重 量 (kg/1.8m)	分類		本体付属アンカー形式				
	車 道 用	歩 道 用	専 用 型	仕 様 有 り	道 路 縦 断 方 向	道 路 横 断 方 向	直 線 型	歯 型	軽 型	普 通 型					ボルト後締め	本 体 溶 接 済 み	本 体 価 格 に 含 む				
											量	型									
ク リ エ ー ト 中 川	ウェルタージョイント	W・T-20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100	○				○	○		○	20~100	○	8.0	76.0~115.0		○		○	○		
	ウェルターリップジョイント	W・T・R-20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100	○		○			○	○	20~100	○	8.0	83.0~122.0		○		○	○	誘導板付き		
	ウェルタージョイントK型	W・T・K-20, 25, 35, 50	○	○			○	○		○	20~50	○	4.0	52.0~59.0		○		○	○		
	シーアールティージョイント	C・R・T-20, 30, 35, 50, 60	○	○			○	○	○	20~60	○	4.0	47.0	○			○	○			
	ノンステップジョイント	N・S-20, 30, 50		○				○	○	20~50	○	4.0	41.0~46.0	○			○	○			
N・S-80, 100, 125, 150, 175, 200, 220, 230			○				○	○	80~230	○	4.0	51.0~83.0	○			○	○				
ク リ テ ッ ク 工 業	ハイブリットジョイント	SS-20	○	○		○	○	○	○	20	○	6.24	28.1	○			○	○	二次止水材, 誘導板別途		
		NS-20	○			○	○	○	○	20	○	6.24	32.8	○			○	○	〃		
		S-30, 40, 50	○			○	○	○	○	30~50	○	15.6	55.1~58.3		○		○	○	〃		
		L-60, 70, 80, 90, 100	○			○	○	○	○	60~100	○	15.6	79.0~83.3		○		○	○	〃		
		LL-125, 150, 175	○			○	○	○	○	125~175	○	15.6	100.3~131.0		○		○	○	〃		
		PS-20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100, 125, 150, 175, 200, 250, 300, 350, 400		○			○	○	○	○	20~400	○	6.24	63.0~135.7		○		○	○	二次止水材別途	
		NPS-30		○			○	○	○	○	30	○	6.24	23.0	○			○	○		
		NRC-20, 35	○	○			○	○	○	○	20~35	○	3.1	33.5~40.3	○			○	○	誘導板別途	
HS-20	○				○			○	20	○	6.24	24.7	○			○	○				
川金 コアテック	マゲバジョイント	RS	○	○		○		○	○	80	○	11.0	102.6		○		○	○	積雪地兼用, 誘導板別途		

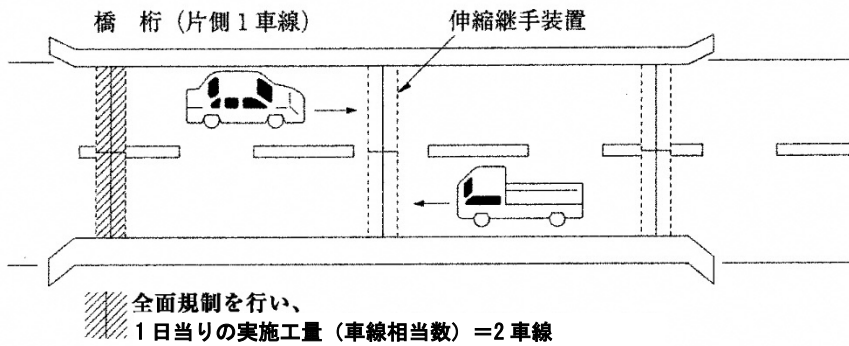
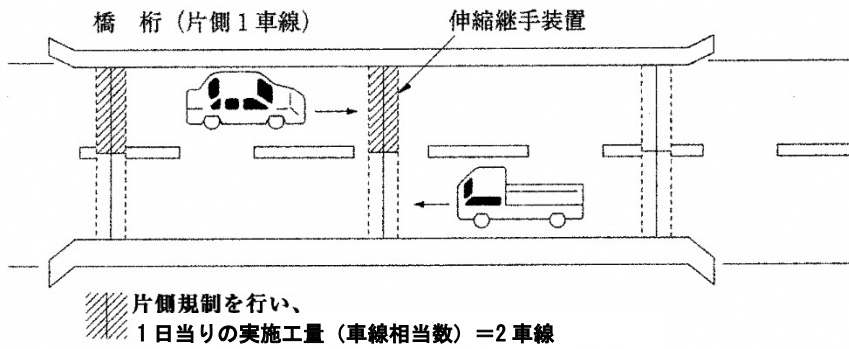
※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

概要図〔参考〕

1) 1車線単価（補修）



2) 2車線単価（補修）



3) 横目地及び縦目地

